

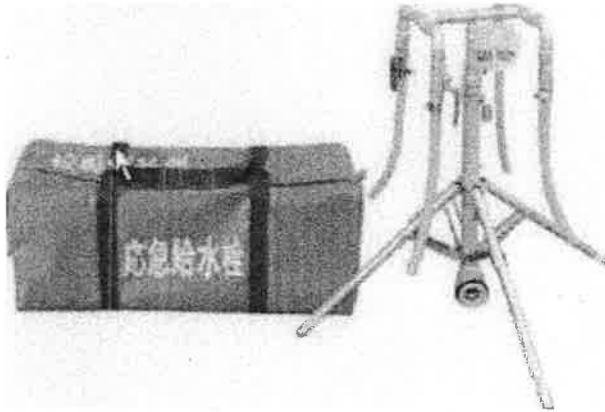


## 「応急給水栓」「可搬式消防ポンプ」の配備

### ・ 応急給水栓の設置・訓練

地震等の災害により、水道施設が被害を受けた場合、給水車では台数不足のため、四日市市が防災資機材の一つとして、迅速に供給できるように避難所施設の防災倉庫に（桜地区市民センター、桜台小学校、桜小学校、桜中学校、西高校）令和3年度配備されました。本体は折り畳み式で、簡単に組み立てでき、消火栓とホースで連結するだけで「仮設給水所」が設置できます。（令和3年11月5日に水道局からの説明、及び訓練実施）

給水栓



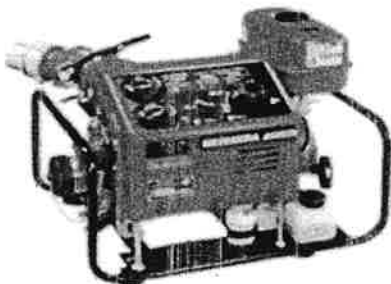
訓練の様子



### ・ 「可搬式消防ポンプ」の導入・訓練

桜地区は消防車が入れない狭い路地、また 地震等により、多点で火災が発生し消防車が出払い不在の場合に自主消火のため、桜地区自主防災協議会が導入しました。（令和3年11月5日）水源は、消火栓、貯水槽、河川等が利用できる。（専用台車で移動・本体重量45kg）

ポンプ本体



訓練の様子



裏面に、1月16日開催されました”桜ずきんちゃん”による「防災講座」で紹介がありました『防災ずきんの作り方』を掲載しています。ぜひ、チャレンジしてみてください。

# 防災ずきんを作ってみよう!

車の中にクッション代わりに防災グッズを置いておきましょう

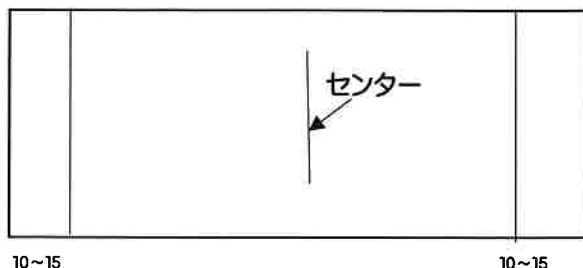
## \* 用意するもの

バスタオル 1枚、新聞紙 6枚、ゴミ袋(大)1枚、紐(1mくらい)、針と糸

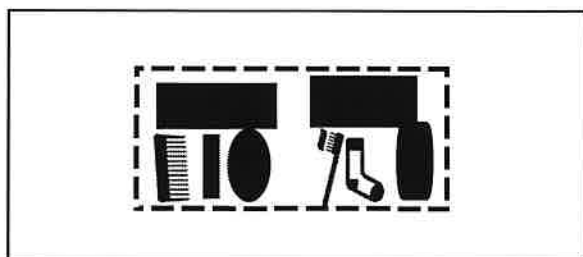
## \* 中に入れるもの

フェイスタオル、ウェットティッシュ、軍手、歯ブラシ、救急絆創膏、等各自必要物

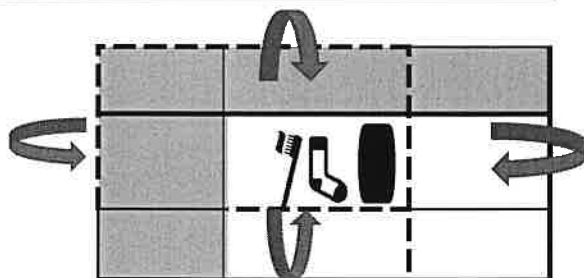
## \* 作成方法



1. 新聞紙3枚重ね2組を  
10~15cmずらして置く

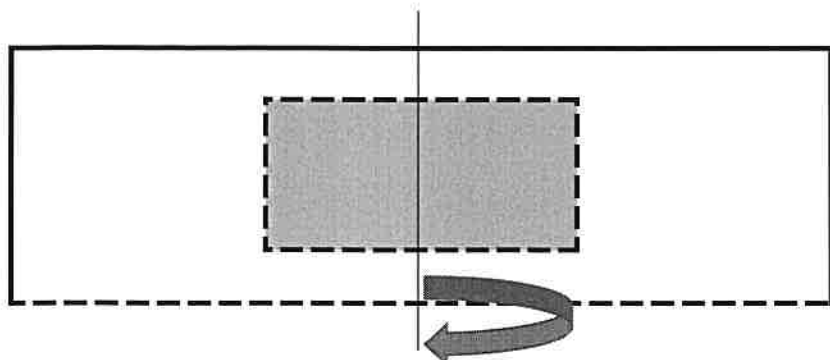


2. 新聞紙上に入れたいものを並べる  
(タオル等は重ねても可能)  
点線内へ左右均等に並べる  
\* 中心部分は少し開ける



3. 新聞上の点線部分に沿って折る

4. 新聞紙をゴミ袋の中に隅を合わせて入れ、中身に合わせて空気を抜きながらしっかり折り包む。



5. バスタオルを縦半分に折り、中心にゴミ袋を置き、さらに半分に折る

6. 点線部分の4枚のバスタオルを荒めにグシグシと縫い付ける

7. 紐を縫い付けて完成

(詳しいお問い合わせは 地域マネージャー水谷 326-2051 まで)

